

# 🌸 掴め君の未来を！ 🌸

慶進中学校・高等学校  
進路部  
令和8年4月7日発行

令和8年度第1号

入学・進級おめでとうございます。環境が変わり、「気持ちを新たに頑張ろう」と思っている人も多いと思います。1年生は、授業を大切にしつつ、平日の自主学習時間を確保し予習・復習の習慣を定着させる学習スタイルを確立しましょう。2年生は、科目数が増え、学習内容も高度になります。自分の現在の学習スタイルを検証しながら、これからどのような点に気をつけていけばよいかを考えてみましょう。3年生は、今は受験生としてのモチベーションが上がっていることだと思います。ただ、そのモチベーションを1年間継続させるためには、しっかりとした学習計画を立てて取り組む必要があります。夏休み前までの学習スケジュールを事前に考えて、それを実行しましょう。



## ●『掴め君の未来を！』について

この『掴め君の未来を！』は、慶進中学校・高等学校の進路部が発行している「進学だより」です。進路部として皆さんに知っておいてほしい情報を、必要なタイミングに合わせて提供しています。掲載している主な情報は以下の通りです。

- ① 大学入試トピックス…大学入試問題の分析や大学入試動向など、教育専門出版社や予備校から発表される情報を紹介します。
- ② 学習や受験へのアドバイス…学年ごとに、その時期にすべき学習や受験対策について、ピンポイントで情報提供します。
- ③ 大学入試や校内選考の手続きの情報提供…様々な手続きについて、提出期限もあわせてお知らせします。基本的に3年生を対象とした情報提供ですが、1・2年生や中学生にも、近い将来に関わりのある情報ですので、しっかり理解してほしいと思います。
- ④ 進路に関する取組の紹介…進路部や各コース・学年が行った、進学関係の行事やキャリア教育の取組を紹介します。
- ⑤ 先輩の合格体験記…大学に合格した先輩方からいただいた体験記や、後輩へのメッセージを掲載しています。

生徒の皆さんは、以上の内容をしっかり読んで、自らの高校生活に役立ててください。また、保護者の皆様にもメール配信で PDF 配布いたしますので、ご一読ください。 ※『掴め君の未来を！』は、慶進中学校・高等学校のホームページでも公開しています。

## ●大学入試トピックス～2026年度共通テスト科目別分析【英語・数学・国語】～

(『2026年度大学入学共通テスト徹底分析』(進研模試編集部)の記事より抜粋)

科目	出題の特徴	これからの学習ポイント
英語リーディング	大問数・解答数・出題形式に大きな変化は見られなかった。昨年よりやや易化…題材は昨年同様、日常的な文章から説明文まで様々なものが扱われた。設問では、出来事の順序を問う問題や、複数の資料を読んで内容を整理する問題、文章の論理構成に配慮して訂正する問題などが出題された。昨年同様にも多面的に情報を処理することが求められた。素直で取り組みやすい問題が多く、昨年よりやや易化。	■様々な素材を、限られた時間のなかで読む必要がある。日頃から多種多様な英文素材を短時間で読解する練習をし、さらに、複数の英文と図表の内容を組み合わせて考えるといった、情報処理を素早く行うような学習をしたい。 ■「文章の論理構成や展開を正確に把握する力」を身につける必要がある。意見や主張を把握するだけでなく、それらをサポートする内容は何かをとらえるなど、文章全体の論理構成を整理する練習をするとういだろう。
英語リスニング	リーディング同様、大問数・解答数・出題形式に大きな変化なし。昨年よりやや難化…昨年に続き、音声情報とイラストや図表などの視覚情報を組み合わせて答える問題が出題された。場面に応じた聞き取りを要する実践的な英語力が問われ、一部の問題では情報を統合的に処理する力が求められた。講義全体を理解する必要がある問題や、放送文からの言い換えに注意が必要な難しい問題もみられたため、昨年よりやや難化。	■音声情報や図表のような視覚情報など、複数の情報を統合的に整理しながら思考・判断する力が求められる。音声を聞く際は、具体的な場面・状況をイメージし、話者の意見や立場を把握しつつ、適宜メモをとりながら重要な情報を素早く把握する練習を積むとよいだろう。また、普段から複数の技能を統合した言語活動に慣れておきたい。 ■日常の会話から社会的なテーマのモノローグまで、出題される素材のテーマ・形式は幅広く、また、イギリス人や日本人を想定したと思われる話者を含む出題も見受けられるので、日頃から様々な音声や図表形式に触れ、多様なジャンルの語彙・表現の習得にも意識を向けながら聞き取りの練習を重ねておくとういだろう。
数学Ⅰ・Ⅱ	日常の事象に関する問題、期待値の問題が出題されなかった。昨年より難化…第2問(1)「2次関数」は、対話形式ではあるが、昨年のような日常の事象に関する問題ではなく、最大値・最小値の条件から2次関数を決定する問題であった。昨年出題された仮説検定の考え方や、期待値に関する問題は出題されなかった。誘導の意図をつかめないと解答に時間がかかる問題が多く、昨年より難化。	■問題の条件に応じてグラフや図を正確に把握し、考察する力が求められる。限られた時間の中で条件を抜けもれなく整理することができるように、日ごろの学習からグラフや図をイメージするだけでなく実際にかく習慣を身につけておきたい。 ■基本的な問題で確実に得点を重ねられるように、各分野の定理・公式の定着を確認するような問題の演習は必須である。さらに得点を伸ばすためには、定理・公式が何を示しているのかについて理解を深め、なぜその定理・公式を用いて解くことができるのかを振り返るようにしたい。
数学Ⅱ・Ⅲ	図やグラフを選択させる設問が複数の問題で出題された。難易は昨年並…第1問「図形と方程式」、第6問「ベクトル」で、領域の図示に関する問題が出題された。第7問は、「複素数平面」主体の出題であるが、2次曲線の概形を選ばせる設問があった。各大問の導入部分は取り組みやすいが、後半部分は前半の考えを発展させる問題が多かった。難易は昨年並。	■得られた式から適切な図やグラフを見極める問題では、不等号の向きや式の係数などの数式がもつ図形的な意味を理解しておくことが重要である。日ごろから、求めたグラフや図形を図示することで、関数や式のどの条件を変えたらグラフや図形がどのように変化するかをイメージする習慣をつけておくようにしよう。 ■基本的な問題で確実に得点できるように、各分野の定理・公式の定着は必須である。さらに、前設問までの考え方を再構築するタイプの設問で得点を伸ばすためには、解法だけを暗記するのではなく、別解に触れたり、類題間で解法がどう違うかを比較したりすることで、解法の狙いや背景もあわせて整理しておこう。
国語	第1問以外の大問で、言語活動や複数テキストの大問が出題された。昨年より難化…設問数は昨年より増加したが、解答数は1個減。昨年に続いて単一テキストからの出題であった第1問を除き、第2～5問では複数テキストや言語活動の設問で情報を比較したり関連付けたりする思考力が問われた。第3問ではグラフや表の読み取りはなかった。易しかった昨年に比べて第1問・第2問が難しく、昨年より難化。	■単一のテキストを読解する設問に加えて、複数のテキストを比較・関連付ける応用的・発展的な思考力を問う設問や、言語活動の場面を想定した設問が出題される。まずは、一つひとつのテキストを正確に読解するために、文章構成や展開、表現の意図を的確にとらえ、論旨や内容を正確に読み取る力が求められる。そのうえで、複数のテキストの関連性をとらえる力や、日常の学習過程や言語活動において、根拠をもって自分の考えの主張や情報の発信を行う力を身につけたい。 ■漢字や重要語句、古典文法など、基礎的な知識を問う設問は引き続き出題される。日々一つ一つの知識事項を習得しながら、その知識を実際の使用場面に応用して考えたい。重要語句の使用例文を確認したり、文脈をふまえて古文単語を一語ずつ訳出したりすることが効果的だ。

【全体概況】 昨年と同様に、知識の理解や、思考力・判断力・表現力を発揮して解く力が求められた。  
■昨年と概ね同じ構成・形式での出題が継続。  
■問題量(文章量)について、教科・科目によって濃淡はあるが、全体的に多いことは変わらない。一方で、丁寧な誘導や、対話文でヒントが与えられる等、むやみに読解量を増やさない配慮も感じられた。

## ●先輩の合格体験記～昨年度、大学に合格した先輩の体験記を一部抜粋して掲載しています～

東京大学文科三類 (中高一貫コース卒業)	山口大学教育学部数学教育コース (アドバンスコース卒業)	山口東京理科大学工学部 (グローバルコース卒業)
<p>【後輩へのメッセージ】 受験が終わった瞬間に後悔の残らないように。日々の地道な努力で実力を伸ばし、志望校対策と研究に勤しみ、たまには頑張っている自分を褒めつつ、目標を叶えてください。</p> <p>【勉強方法について】 英語:高2の12月に古川先生から「このままだとヤバイ」と言われ、1か月で『scramble』を修めたことが、英弱な私の転機でした。あと、『キクタン』が性に合わなかったので、『鉄壁』を重用しました。</p> <p>数学:よく応用力という力を耳にしますが、私は凡人なのでその力はありません。『文系数学プラチカ』やカコ問を解きまくることで、ただ「既視感のある問題」を増やしました。</p>	<p>【後輩へのメッセージ】 自分が一番頭が良いというメンタルをもって、勉強と試験に臨んでください。</p> <p>【共通テストに向けた対策】 共テは特有の解き方がどの科目にもありません。参考書や授業を中心に解き方を叩き込む必要があります。時間配分や戦略を演習1回ごとに立てましょう。特に英Rは時間との勝負です。また、演習では、時間を10分少なくして解いてみるのが、まじ効果的です!!</p> <p>【個別試験(二次試験)に向けた対策】 地方国公立大学なら、基礎⇒カコ問で充分です。カコ問を何度も繰り返して傾向を掴み、解く。同じレベルの大学の問題を解くのも有効です(上でも良い)。</p>	<p>【後輩へのメッセージ】 周りの声を気にせず、自分を信じて頑張ってください。</p> <p>【共通テストに向けた対策】 部活を秋までして、他の人より遅れをとったので、まず早起きすることを心掛けました。理系科目は早めに仕上げておく、共テ直前は、成績が伸びやすい暗記科目の勉強に集中できます。</p> <p>【個別試験(二次試験)に向けた対策】 共テが終わってだらける人がいますが、共テを失敗しても二次で挽回できるので、残り1か月を二次に向け全てを注ぎましょう。二次の受験科目は少ないので、やればやるだけ伸びていく実感がありました。</p>

## ●進路部の取組について～昨年度の取組について活動報告をします～

- ① 地元大学研究会  
地元で学び、地元で働き、地元に貢献したいと考える生徒のための研究会です。特に志望者の多い地元の国公立大学の入試について研究し、志望者に対して体系的な指導を行います。各大学の校内説明会、大学生との懇談会、大学教員による出前講義、志望理由書・小論文・面接等の個別指導を実施します。
- ② 医学科進学プロジェクト  
医師になり社会に貢献したいという生徒の夢を実現するために、長期的な計画のもとで様々なサポートをしています。医療現場に出かける機会を設け、見学や体験、交流を通して職業観や受験を突破する強い意志を養うとともに、医療テーマについての講座を実施し、さらに小論文・面接の個人指導を3人体制で行うなど、きめ細かい受験対策を行います。
- ③ 東大プロジェクト  
東京大学をはじめとする難関大学合格に向けた様々な取組を行っています。例えば合格した卒業生に参加してもらい、「慶進生と東大生による茶話会」を実施し、先輩からは、合格を実現させた勉強方法についての助言をいただいています。また、定期的「難関大解剖ゼミ」では、ゼミ形式で東大・京大等の良問を分析し、楽しみながら難問に挑戦する場を、設けます。

**昨年度の地元大学の合格状況**

山口大学	20名
山口県立大学	7名
山口東京理科大学	8名
周南公立大学	7名
下関市立大学	3名
山口学芸大学	10名



地元大学研究会オリエンテーションのようす



「医学科系出前講座」のようす



「東大茶話会」のようす

## ●2026年度 進学関連行事の年間スケジュール

進路部では毎年たくさんの進学関連行事を企画・運営しています。ここで、年間のスケジュールを紹介しますので、先を見通しながら、積極的に取り組むようにしましょう。 ※下記の日程については変更の可能性があります。常に最新の情報を確認してください。

6月 6日(土) 大学入試動向分析会(Ⅲ)	12月上旬 共通テスト受験 校内説明会(Ⅲ)
6月～7月 地元大学出張大学説明会(Ⅰ～Ⅲ希)	12月中旬 進路講演会(Ⅱ)
7月17日(金) 小論文講座(Ⅱ全、Ⅲ希)	3月上旬 共通テスト分析会(Ⅱ)
7月31日(金) 進路希望調査票提出(Ⅲ)	(日時未定) 医学部出前講義、病院訪問、東大生との茶話会など
8月下旬 学校推薦型選抜校内選考学校面接(Ⅲ希)	
8月26日(水)・27日(木) 校内実力テスト(Ⅲ)	
9月上旬 共通テスト出願 校内説明会(Ⅲ)	
9月後半 学校推薦型選抜 校内選考発表(Ⅲ)	
10月3日(土) 夢ナビライブ(Ⅰ)	
11月上旬 高大連携行事(ⅠG)	
12月上旬 大学訪問(ⅠA)(ⅡA)	

**4月の進学スケジュール**

8日(水) 中学校始業式・入学式
9日(木) 高校始業式・入学式
10日(金)・11日(土) ベネッセ総合学力記述模試(Ⅲ)
18日(土) 進学ガイダンス(ⅠA)
25日(土) 進学ガイダンス(ⅠG)(ⅢG)
26日(日)～28日(火) 実力強化合宿(ⅠA)